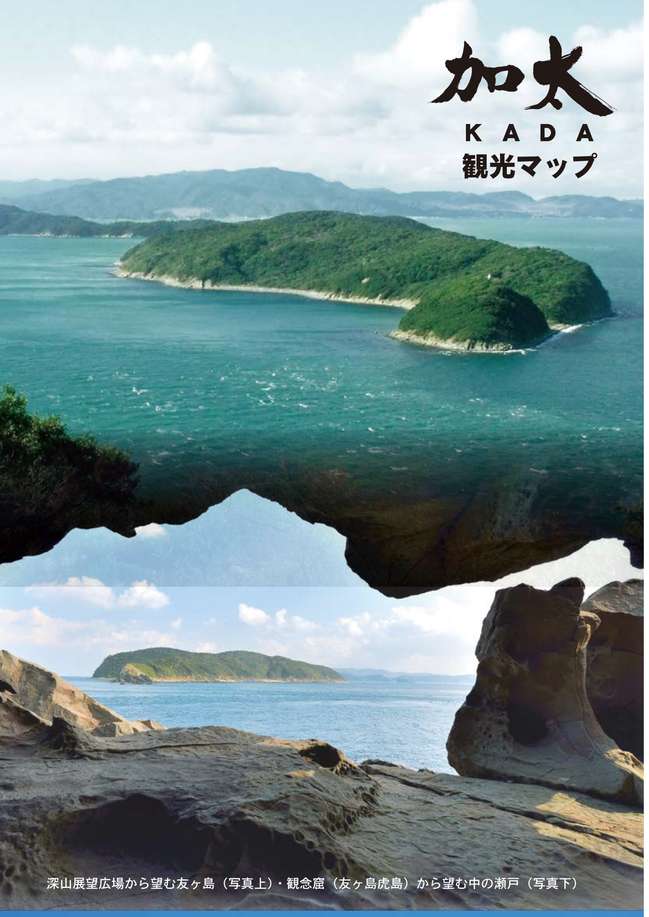
加太 KADA 観光マップ



深山展望広場から望む友ヶ島（写真上）・観念窟（友ヶ島虎島）から望む中の瀬戸（写真下）

友ヶ島灯台
英国人技師の設計で明治５年に点灯。潮岬、樫野埼の２灯台とともに日本で最も早い時期に点灯された洋式灯台で、歴史的・文化的価値が高いとされています。
また経済産業省により、明治～戦前まで日本の産業に貢献した建物として、近代化産業遺産に指定されています。

神島
神功皇后（じんぐうこうごう）が紀伊水道上で激しい風に会い、神に祈りをさげると無事にこの神島にたどり着く事ができたさき、そこに赤っち岩（ほこら）を祭日に捧天皇が対岸の加太に うつされたのが、淡嶋神社の起こりとされています。一般の入島はできません。

虎島
役小角（えんのおずぬ）ゆかりの地。慈姑二十八宿の第一番目の行場「序品窟（じょほんくつ）」や観念窟（かんねんくつ）、役小角像があります。また、中の瀬戸に面したみさとも聚砂郡一枚岩には「五所の額（ごしょのがく）」と呼ばれる友ヶ島内の５ヶ所の行場が彫られています。

中ノ瀬戸
友ヶ島は紀淡海峡の要塞分に構たわっているため、紀伊水道と大阪湾の潮流の影響が大きく、特に虎島と地ノ島の間（中の瀬戸）は底潮が上昇し渦を巻くなど複雑な潮流となります。そのため多の練まった漁獲など絶好の漁場となっています。一本釣りされた真鯛は加太ブランドの高級品として全国に出荷されています。

紀淡海峡と友ヶ島周辺
紀淡海峡は大阪湾の玄関口で、加太田倉崎から淡路島洲本の間の海峡。その間約１１km。
中でも由良の瀬戸（沖ノ島西端～洲本の間）は、アジア屈指のハブ港湾である神戸港・大阪湾に出入りする船舶が往来する重要な航路となっています。

深蛇池
自生するスゲなどの植物の遺体が重なった泥炭層で浮島を形成しているとして、和歌山県天然記念物に指定されています。友ヶ島行場五所の一つで、池の中央には「深蛇池」石碑が建ち、正面には祈願場（きとうば）があります。約２ヘクタールの広さがあります。

孝助松海岸・池尻広場
孝助松民話にある大きな松（二代目）と、海岸には斜めに松立（きつりつ）した大きな三角岩が印象的です。池尻広場は蛇ヶ池（深蛇池とは異なる）に面して、キャンプ場となっています。
地盤の至はいつも泥がりしたきれいな状態になっていますが、それは友ヶ島に 50～60 頭生息するタイワンジカが余分な芝を食べるためです。

砲台跡
明治政府は、大阪湾への外国艦隊の進入を防ぐため、友ヶ島周辺の紀淡海峡一帯を国内第一級の主要要塞として位置づけ、友ヶ島には沖ノ島に５砲台、虎島に１堡塁（ほうるい）が配備されました。
中でも第三砲台はそのスケールと美観から、観光客の人気が高まっています。

友ヶ島の歴史

和歌山市北西加太沖に浮かぶ無人島群、瀬戸内海国立公園の紀淡海峡に浮かぶ沖ノ島（おきのしま）・地ノ島（じのしま）・虎島（とらしま）・神島（かみじま）、この４島を総称して友ヶ島と呼んでいます。
島内は、緑深い照葉樹林が道の上まで覆っており、木陰の中をハイキングすることができます。また、他にも様々な植物・磯の生きものなどが生息する自然の宝庫となっています。
友ヶ島には、観念窟（かんねんくつ）・序品窟（じょほんくつ）・開伽井（あかい）などの、役行者（えんのぎょうじゃ）の修験道に関する行場があります。
沖ノ島の西端にある明治５年築の友ヶ島灯台は、日本で８番目に建築された白い洋風灯台で、現在も現役で稼働しています。そして、灯台そばの広場は、日本標準時子午線（東経１３５°）が通る日本最南端の地となっています。
また、友ヶ島は、明治時代から終戦まで大阪湾を防衛する由良要塞の拠点のひとつとして旧陸軍により使用されていました。戦争が終わった後、砲台は取り壊された大砲は処分されましたが、島には今も砲台跡や弾薬庫などがあります。
友ヶ島は、これらのスポットを巡るハイキング・磯遊び・キャンプなどのレクリエーション体験の好適地で、京阪神エリアからも日帰りで楽しめる距離にあります。“あなたも、この島でちょっとすてきな体験をしませんか？”みなさまのお越しを心からお待ちしております。

ハイキングモデルコース

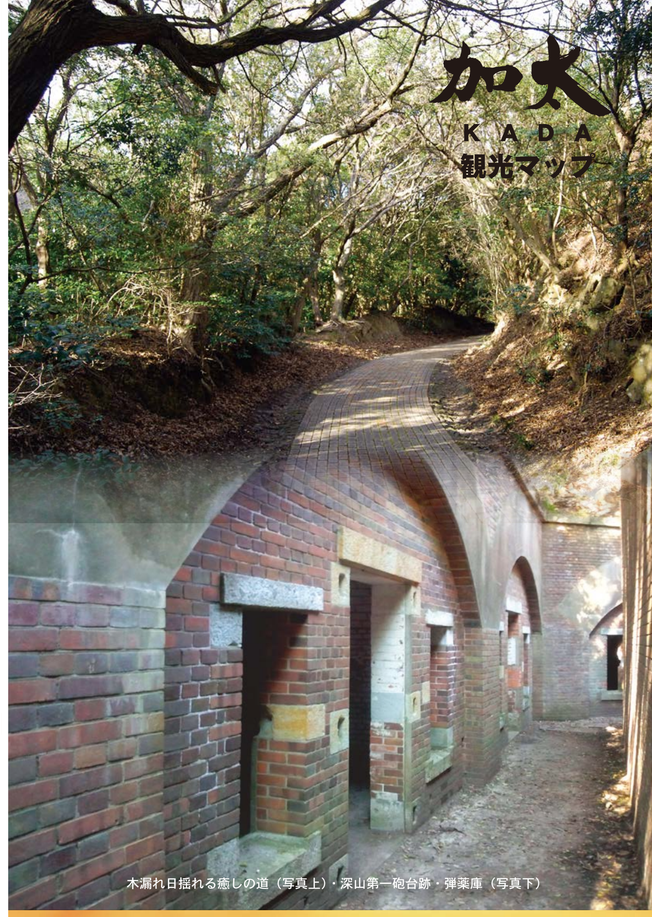
名所探訪コース　所用時間：約 3.3km　約 1 時間 30 分

野奈浦桟橋 → 0.9 km（20 分）→ 第１砲台跡 → 0.3 km（10 分）→ 第２砲台跡 → 0.2 km（10 分）→ 第３砲台跡 → 1.0 km（30 分）→ 孝助松海岸 → 0.9 km（20 分）→ 第５砲台跡・タカノス山展望台 → 野奈浦桟橋

自然散策コース　所用時間：約 6.1km　約 2 時間 20 分

野奈浦桟橋 → 0.5 km（10 分）→ 南垂水広場 → 0.7 km（15 分）→ 第４砲台跡 → 0.7 km（15 分）→ 深蛇池・蒲浦海岸 → 1.5 km（40 分）→ 開伽井の碑 → 2.7 km（60 分）→ 野奈浦桟橋

※地図上の色線（赤・青）はモデルコースを表しています。実際には、コース状況や歩行者の体力などによって差異が生じますので、自分としてご利用ください。



木漏れ日揺れる癒しの道（写真上）・深山第一砲台跡・弾薬庫（写真下）

■ 加太の歴史

加太淡嶋神社

供養のために約４万５千体ともいわれるひな人形が奉納されている御本殿は天正 13 年（1585 年）、豊臣秀吉の紀州征伐で全焼した後、浅野幸長が再建、紀州徳川家初代・徳川頼宣が修復、江戸時代末期に第十代・徳川治宝が造営したものです。昭和 54 年（1979 年）には傷みが目立つようになった社殿を覆うような形で新社殿が造営されました。
神宝として神功皇后奉納の金銅造丸鞘太刀（国宝）、護良親王奉納の大円山形星兜（国宝）などが伝わり、この神社が古くから皇族や有力武士の厚い崇拝を受けていたことがわかります。女性の守り神の神社で、全国にある「淡島神社・淡島堂」の総本社です。
当地は古代から南海道を往来する船舶の要衝にあたり、神社の建物には一部、木造船の部材が再利用されています。「紀伊続風土記」は紀伊国屋文左衛門の出身地。そしてそのみかん舟・梵天丸の出帆地が加太であると伝え、文左衛門の家に祭られていたと伝わる稲荷社も境内に鎮座します。

加太春日神社

「紀伊風土記」によると、藤原光福が地頭としてこの地を支配した嘉元年間（1303-1317）に自分の祖先神である春日三神を祀り、総名として「春日社」と称したとあります。また「紀伊名所図絵」には、社地は現在地から東の山の中腹にあったが、天正年間（1573-1592）に羽柴秀長の家臣で和歌山城代桑山重晴によって現在地に遷したと記されています。なお、棟札（重文）によって慶長年間（1596）に大がかりな社殿の造作がなされたことも実証されています（本殿国指定重要文化財）。
明治時代まで神職をおかず運営されていたため、神社には記録文書類は存在しないが「紀伊国神名帳」に「正一位春日大社」と記されていることから御神徳の篤い神社であると知ることができます。また修験道の開祖、役小角が友ヶ島を行場と定めた折に当社を勧請して守護神としたため、現在でも毎年四月初旬に聖護院門跡が大勢の山伏僧と共に参拝されています。

■ 加太淡嶋温泉と漁業

和歌山県の最西端に位置し、万葉の歌人が“潟見の浦”と詠い上げた風光明媚な加太湾に臨んだ加太の温泉は、大阪と和歌山の県境に近く京阪神からも楽々アクセスしやすいこともあり沢山のお客様が足を運ぶ近場の穴場です。
加太の温泉は重曹泉が多く、しっとりしたお湯でお肌を柔らかくスベスベにする効果があり女性に人気の温泉です。また加太からは友ヶ島や淡路島、遠くは四国まで見渡せ、特に夕日が美しい景勝地で、海の香りと波の音、行き交う船など漁師町ならではの素朴な風情に心癒されます。
また漁業では紀淡海峡、友ヶ島海道と潮流の速い近で一本釣り漁業を主体に営んでおり身のしまった美味しい魚も多く、真鯛を中心に色々な魚の水揚げがなされています。特に加太の鯛とタコは有名で、プレミア和歌山にも認定されています。約１５０隻の加入船があるが、時期により漁業種類を変えて操業している漁師もいます。健康食品として注目を集めている海藻類はワカメを中心に寒天の原料である天草晒も生産しています。

加太淡嶋温泉

加太淡嶋温泉

鯛の一本釣り

たこ壷漁

■ 加太のイベント行事

開催日	開催行事	開催場所
1 月 1 日	歳旦祭	淡嶋神社・加太春日神社・行者堂
1 月 9 日～11 日	初戎祭	加太春日神社
2 月 8 日	針祭（針供養）	淡嶋神社
2 月中旬	紫陽花植樹祭	加太森林公園
3 月上旬	加太の桜鯛祭り	新出駐車場
3 月 3 日	雛祭（ひな流し）	淡嶋神社
3 月中旬	島開き	友ヶ島
4 月 3 日	春の大祭	淡嶋神社
4 月 28 日	春会式	報恩講寺
5 月第 3 土曜日	例大祭御遷祭（えび祭り）	加太春日神社
6 月末	浜開祭（海開き）	加太海水浴場
7 月 7 日	行者誕夏祭り	行者堂
7 月 31 日～8 月 3 日	夏祭（夏越しの祭）	淡嶋神社
7 月 31 日	大祓祭（茅の輪くぐり）	加太春日神社
10 月 3 日	秋の大祭（甘酒祭り）	淡嶋神社
10 月中旬	加太の竹燈夜	加太多目的広場（加太浜グラウンド）
11 月上旬	加太の紅葉鯛祭り	新出駐車場
11 月 22 日～24 日	秋の大会式	報恩講寺
12 月 31 日	除夜祭（庭火の神事・焼納祭）	加太春日神社

紫陽花植樹祭

加太の桜鯛祭り

雛祭（ひな流し）

加太の紅葉鯛祭り

例大祭御遷祭（えび祭り）

加太の竹燈夜

※開催日時等の変更や中止が御座いますので、加太観光協会までお問い合せ下さい。

■ 加太までの交通アクセス

■ 大阪から電車で

●南海電車利用
難波より特急または急行で和歌山市駅下車。
加太線乗り換え、終点加太駅下車。

●ＪＲ阪和線利用
天王寺より快速で和歌山駅下車
和歌山市行乗り換え、
または和歌山バスで和歌山市駅へ。
南海加太線乗り換え、終点加太駅下車。

●関西国際空港 南海電鉄利用
関西空港より普通で泉佐野下車。
南海本線乗り換え特急または急行で
和歌山市駅下車。
加太線乗り換え、終点加太駅下車。

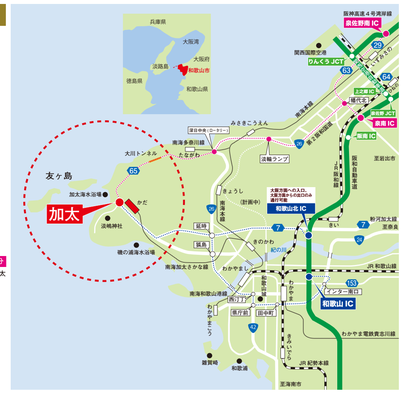
■ お車で

●阪神高速４号湾岸線 泉佐野南 IC 出口　約 33km 約 60 分
泉佐野南 IC → 樽代北交差点 → 淡輪ランプ→ 深日ロータリー → 加太

●阪和自動車道 泉南 IC 出口　約 26km 約 45 分
泉南 IC → 樽代北交差点 → 淡輪ランプ → 深日ロータリー → 加太

●阪和自動車道 和歌山北 IC 出口　約 17km 約 40 分
和歌山北 IC → 7 松河加太線 → 延時交差点 → 加太

●阪和自動車道 和歌山 IC 出口　約 18km 約 45 分
和歌山 IC →（和歌山市砂方面）→ 県庁前交差点 →
西汀丁交差点 → 延時交差点 → 加太



■ 友ヶ島 ～ 加太航路

＜旅客運賃＞

大人 往復 2,000円（片道 1,000円）
小人 往復 1,000円（片道　500円）
※団体割引　15 人以上（要 問い合わせ）

所要時間約 20 分

※火曜日・水曜日（4 月 28 日～5 月 6 日、7 月 20 日～8 月 31 日までを除く）には運休します。
（ただし、火曜日・水曜日が祝日の場合は運航します。）
※臨時便は 4 月 28 日～5 月 6 日、7 月 20 日～8 月 20 日までの間は運航します。
気象状況等により欠航する場合もあります。

●加太港～友ヶ島航路　運航時刻表

3 月 1 日～11 月 30 日

便	加太港発	友ヶ島発
1	9：00	9：30
臨 1	10：00	10：30
2	11：00	11：30
3	13：00	13：30
臨 2	15：00	15：30
4	16：00	16：30

12 月 1 日～2 月末日

便	加太港発	友ヶ島発
1	10：00	10：30
2	15：00	15：30

※12 月 29 日～1 月 3 日を除く
土曜日・日曜日・祝日に運航します。

荷物運賃表

小荷物	10kg 未満	200 円
	10kg～20kg 未満	400 円
	20kg～30kg 未満	600 円
特殊小荷物（自転車等）		800 円

●友ヶ島内施設等に関するお問い合せ先

名称		電話番号
友ヶ島案内センター		073-459-0314
友ヶ島案内センターの電話が通じない時 加太～友ヶ島　不定期航路運航船 加太漁業協同組合（月～金 9：00～17：00 の間に限る）		073-459-0062
宿泊施設	友ヶ荘	073-459-1462
	海の家	073-459-1636

●加太・友ヶ島情報

加太観光協会	http://www.kada.jp/	073-459-0003

航路に関するお問い合せ先
友ヶ島汽船（株）TEL.073-459-1333

■ 加太の特産品

蛸（タコ）

加太のマダコの特徴は、エサが豊富な友ヶ島周辺海域で育っているため、身はしこしことしており、柔らかく甘みがあり、刺し身・ゆでタコ・から揚げ・シーフードの具として、とてもおいしく食べることができます。

若布（ワカメ）

和歌山市の北西端、加太浦付近で採れるワカメは「加太若芽」と呼ばれ、紀伊水道の荒波にもまれ加太の海で育ったワカメは、磯の香り漂う色鮮やかな新鮮素材です。ここ加太で採れるわかめは１００％天然にこだわりを持ったわかめで美味しとして非常に珍重されているのです。

鯛（タイ）

加太では年間を通してマダイが釣れます。友ヶ島水道とその周辺海域は絶好のマダイの産卵場であり、また主要な越冬場になっています。
春には桜色をしている太平洋から産卵を控え栄養分をしっかり蓄えた瀬戸内へ来るノボリ鯛（桜鯛）、秋は瀬戸内より来年の産卵のため、栄養を蓄えながら太平洋へ下るもみじが紅葉したような色のもみじ鯛（紅葉鯛）、そして冬の越冬鯛と、この海域は栄養分をしっかり蓄えているマダイの通り道である全国でも屈指のマダイの好漁場です。
特に友ヶ島周辺の海域を主な漁場とする加太地区では傷を付けない伝統的漁法の一本釣りによりマダイを釣獲し、「プレミア和歌山」にもブランドとして登録されています。
活魚においては関西はもとより全国で「明石鯛」「鳴門鯛」と並んでトップブランドとして取り扱われています。

お問い合せ　加太観光協会　〒640-0103 和歌山市加太 1067　TEL ／ FAX. 073-459-0003　URL　http://www.kada.jp　E-mail　info@kada.jp

鳴ヶ崎万葉歌碑（写真上）・夫婦洗濯岩、男性（写真下）

夕陽百選の加太